

枚方市立川越小学校

「子どもが主役」の川越小(10月号)



枚方市立川越小学校通信
令和8年10月2日
校長 田中 裕子
TEL 050-7102-9120

【子どもと共に育ち合う学校像】

「みんなが安心 みんなで創る 一人一人が輝く ごきげんに生きられる学校」

運動会の練習に励んでいます！

運動会の練習が始まり、子どもたちの意欲的に取り組む姿に心を打たれます。あるクラスの学級通信で、「価値のない無理」と「価値のある無理」についての言葉がありました。「価値のない無理」とは、例えば熱があるのに学校に来るとか、怪我をしているのに練習を続けるなど、体調を崩してまで行う必要のないものを指します。一方で、「価値のある無理」とは達成できる可能性を信じ、挫けそうな時に自分を振るい立たせて挑戦する「無理」のことであると書かれていました。さらに、この「価値のある無理」は、人の「成長」には必要不可欠であると書かれていました。私は仲間と励まし合って手に入れるこの「価値」こそが教育的価値であると考えます。

一生懸命に教え合いながらダンスに取り組んでいる1・2年生。沖縄の伝統芸能であるエイサーに打ち込む3・4年生。難しい技にも緊張感と勇気をもって組み立て体操に取り組む5・6年生。どの学年の子どもたちも、運動会当日の演技披露に向けて、様々な壁を乗り越えながら日々を過ごしています。ご家庭でも、子どもたちの毎日の頑張りを聞いていただき、温かく見守り励ましていただけると嬉しいです。

学校の様子



1・2年生ダンス



3・4年生 エイサー



5・6年生 ソーラン

